

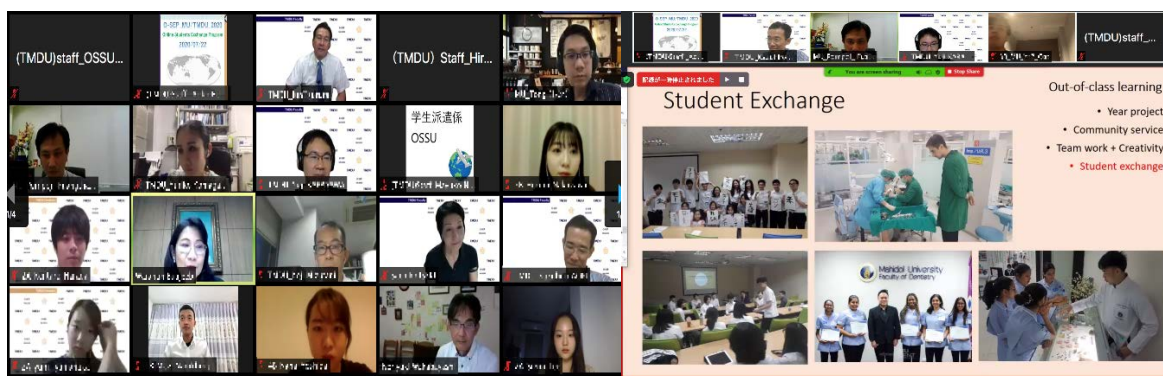
「O-SEP_MU_2020」が開催されました

2020年7月22日、日本時間18時30分より2時間、大学間協定を締結しているタイ王国のマヒドン大学（Mahidol University）のInternational Dental School 生と本学の歯学部生により、「O-SEP_MU_2020」（歯学部国際交流委員会主催）を開催いたしました。

この「O-SEP」は、Online Students' Exchange Program の略で、COVID-19によるコロナ禍のため留学を含め海外渡航が出来ない中、渡航に代わる新たな国際交流の取組として歯学部国際交流委員会により企画されました。第一回目となる今回は以前より学生交流や研究交流などで親密な関係にあるタイ王国マヒドン大学とウェブ会議システムの用いての開催になりました。

歯学部全体で幅広く募集を行ったところ、本学からは学科や学年の壁を越えて43名（1年生～6年生）の参加があり、マヒドン大学からは11名（2年生～6年生）の参加がありました。今回はまだ英語に慣れていない1年生も多くいたため、学年の屋根瓦形式にて、上級生が中心となり、事前に本学学生だけでグループワークを行い、自己紹介やプレゼンテーションなどの事前準備をして当日に臨みました。当日は11の小さなグループに分かれての自己紹介に始まり、マヒドン大学のホーンボット先生の熱のこもった講演を挟んで、後半には6つのグループに分かれて、お互いの国や学生生活についての紹介からコロナ下の歯科医療についてまで幅広い内容でグループセッションを行いました。最初は緊張していた学生も徐々に打ち解けてきて、最後にはたくさんの笑顔を見ることができました。

何かと暗い話題の多いコロナ禍のなか、このようなイベントが成功できたことは、これからの国際交流における希望となる貴重な体験となりました。また、事後アンケートの回答から、今回のプログラムは国際交流という側面だけでなく、キャンパスに通うこともままならない学生達にとっての学生同士の交流、1年生にとっては上級生との課外活動という点でも大きな意味のあるものとなったこともわかりました。



プログラムの様子